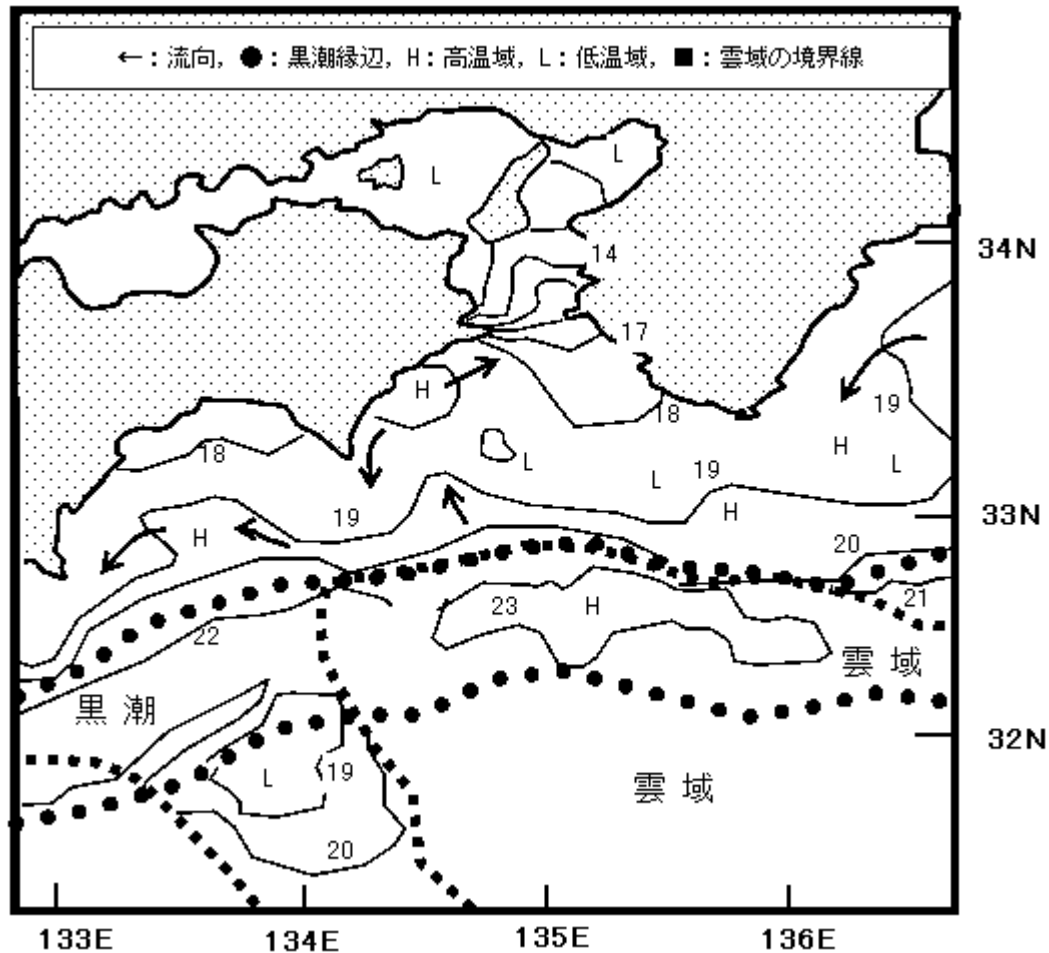


1. 海況の経過

1) 黒潮

九州東岸～足摺岬南沖で「やや離岸」、室戸岬～紀伊水道沖～潮岬で離岸して流れている。表面水温は21℃前後。



2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.3.11～12)を示した。

表面水温は播磨灘が11℃、紀伊水道内部が12～16℃、水道外部は16～19℃である。19℃の暖水が徳島県沿岸部に波及している。

漁業調査船「とくしま」が3月7,8,9日に行った紀伊水道海区の海洋観測結果では、水温は、全層で「高め」であり、表層で13.0℃、10m層で13.1℃、20m層で13.6℃、30m層で13.9℃、50m層で14.6℃であった。

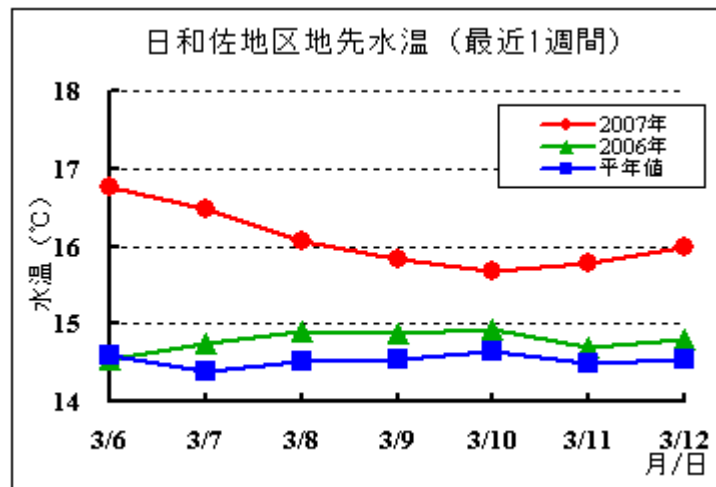
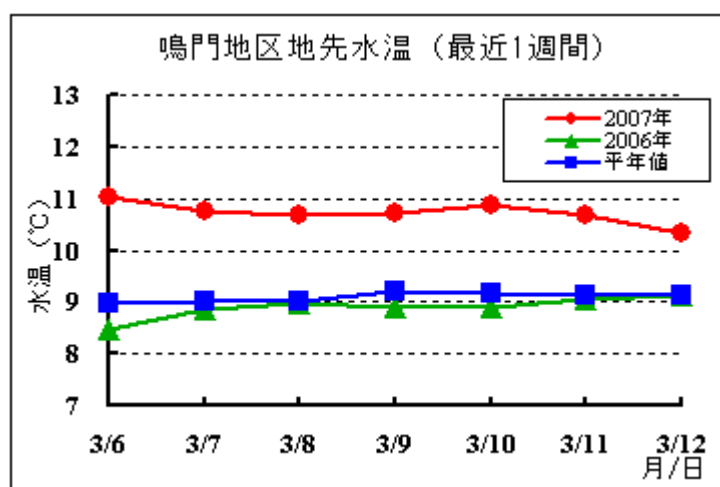
表層の水温は昭和43年の観測開始以降2番目に高かった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2007/03/07,08,09)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	13.0	13.1	13.6	13.9	14.6	今年値	33.4	33.6	33.8	34.0	34.2
平年偏差	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	平年偏差	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
前年偏差	0.6	0.8	0.9	1.0	1.4	前年偏差	0.2	-0.1	0.0	0.0	0.2

3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の10.3～11.0℃で、日和佐地区が「やや高め」～「高め」の15.8～16.7℃で、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の15.9～17.5℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、マルソウダが2.5トン(1日1隻あたり182kg)、ウルメイワシが1.4トン(同124kg)、アオリイカが0.9トン(同7kg)、カタクチイワシが0.7トン(同27kg)、キビナゴが0.5トン(同15kg)、マルアジが0.3トン(同18kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、ブリが1.7トン(同1.7トン)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、ゴマサバが0.9トン(同25kg)、特大、大主体にマサバが0.4トン(同14kg)、大主体にアオリイカが0.3トン(同7kg)、紀伊水道で、タチウオが1.6トン(同75kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、イカナゴが0.4トン(同12kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)3月01日～3月07日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マルソウダ	14	2,548	182	
		ウルメイワシ	11	1,367	124	
		アオリイカ	125	887	7	
		カタクチイワシ	25	685	27	
		キビナゴ	31	467	15	
		マルアジ	14	252	18	
大型定置網		ブリ	1	1,714	1,714	
釣り	海部沿岸	ゴマサバ	36	889	25	
		マサバ	31	430	14	特大、大主体
		アオリイカ	43	289	7	大主体
	紀伊水道	タチウオ	21	1,569	75	
パッチ網	紀伊水道	イカナゴ	29	362	12	

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬とも「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の10～11℃、日和佐地先で「やや高め」の15～16℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のパッチ網でシラスが61.6トン(1日1隻あたり894kg)、曳き縄でタチウオが2.5トン水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが12.9トン、さば類が46.9トン、スルメイカが1.6トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上